

# 2021 年度全日本学生ヨット選手権北海道予選

共同主催 : 北海道学生ヨット連盟・北海道セーリング連盟・小樽セーリング協会  
 開催地 : 小樽市祝津ヨット競技場 レース海面：小樽市祝津ヨットハーバー沖  
 大会期日 : 2022 年 9 月 24 日(土)～9 月 25 日(日)

## レース公示 (NoR)

[SP] レース委員会から審問なしに、またはプロテスト委員会の審問によりスタンダード・ペナルティーが課せられる

[NP] 艇からの抗議の根拠とはならない。これは規則 60.1(a)を変更している。

### 1. 適用規則

- 1.1 本大会は『セーリング競技規則 2021-2024』（以下『規則』と表記）に定義された規則を適用する。
- 1.2 最新の「全日本学生ヨット連盟規約」「470 級学連申し合わせ事項」「スナイプ級学連申し合わせ事項」および「艇体への大学名表示に関する申し合わせ事項」を適用する。
- 1.3 国際スナイプ級について、SCIRA 規則の『国内および国際選手権大会運営の運営規定』は、同規定 9.1 に定められたレースを行う最大風速に関する規定を除き、適用しない。
- 1.4 付則 P および付則 T を適用する。
- 1.5 規則 41 に以下を追加する。  
『(e) 自チーム内での情報の交換』
- 1.6 規則 60.1(b) に以下を追加する。  
『ただし、艇は、自チームの他艇から受けた損傷または傷害に基づいて、救済要求を行うことはできない。』
- 1.7 付則 D は適用しない。
- 1.8 以下の規則を追加する。  
『インシデントが同じチームの艇の間であり、接触がなかった場合、規則第 2 章の規則違反に対してのペナルティーはないものとする。』

### 2. コミュニケーション

- 2.1 オンライン公式掲示板は、大会オープンチャットに設置する。大会オープンチャットへの登録及びオンライン手続きについては、帆走指示書に示す。

### 3. 競技種目

国際 470 級、国際スナイプ級

### 4. 参加資格および申し込み

#### 4.1 参加資格

- (1) 2022 年度(公財)日本セーリング連盟の会員であること。
- (2) 選手は全日本学生ヨット連盟規約第 6 条を満たしていること。
- (3) 国際 470 級の競技者は、日本 470 級協会の 2022 年度団体登録を完了している大学ヨット部に所属していること。
- (4) 国際スナイプ級の競技者は、2022 年度 SCIRA 会員であること。

#### 4.2 参加申込み

- (1) 以下の参加申込書の全てに記入の上、**2022 年 9 月 22 日(木)**までに下記あてに電子メールで必着すること。
  - (a) 参加申込書-1
  - (b) 参加申込書-2 (競技者名簿)
  - (c) 参加申込書-3 (支援艇許可申請書)
  - (d) 支援艇の船検証のコピー
  - (e) 参加申込書に記載した競技者全員および監督の『2022 年度(公財)日本セーリング連盟会員証』

もしくは『JSAF 会員 web 画面』写し

- (f) 国際スナイプ級の競技者は、『SCIRA へのメンバー登録番号』を参加申込書-1 に記載のこと  
 (2) 期日を過ぎてからの参加申込み（書類の不備を含む）および競技者の追加・変更は認められない。

#### 4.3 参加申込先

【送付先】 氏名： 若林直人 [h.gakuren21@gmail.com](mailto:h.gakuren21@gmail.com)

### 5. 参加費用

5.1 エントリー費 10,000 円/クラス・校

5.2 エントリー費の振込

エントリー費は以下の口座に、期限内に振り込むこと。

振込先：北海道学生ヨット連盟 銀行：北洋銀行 小樽駅前支店 口座番号：345 3306717

振込期限 2022年9月23日(木)

### 6. 艇

- 6.1 各クラス1チーム3艇とする。なお、各チームとも1艇の予備艇を認める。  
 6.2 国際470級は2022年団体登録を完了し、かつ本大会の大会計測を完了していること。  
 6.3 国際スナイプ級の艇は2022年度 SCIRA 登録が完了し、かつ本大会の計測を完了していること。  
 6.4 予備艇の使用は損傷があった場合のみとし、レース委員会の許可を得なければならない。  
 また、予備艇も本大会の計測を完了していなければならない。  
 6.5 [DP] 艇体には、『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』に定められた表示をしなければならない。

### 7. セール

- 7.1 各チーム1艇につき1セットとする。なお、各チームとも3セットの予備セイルを認める。  
 7.2 国際470級のセイルは基本計測を完了していなければならない。  
 7.3 国際スナイプ級のセイルは、2022年の年度計測を完了していなければならない。  
 7.4 艇は、他艇と同一のセイル番号を同時に使用してはならない。  
 7.5 艇は、オリジナルのセイル番号に数字・形象等を付加した、各クラス協会に登録されていないセイル番号を使用してはならない。  
 7.6 国際470級のメインセイルとスピナーカーのセイル番号は同一でなければならない。  
 ただし、予備セイルを使用する場合はこの限りではない。  
 7.7 予備セイルの使用は、セイルの紛失又は補修ができないほどの損傷があった場合のみとし、レース委員会の許可を得なければならない。  
 また予備セイルは大会計測を完了していなければならない。

### 8. レース日程

9月18日(日)、19日(月)	09:00-16:00	大会計測
9月24日(土)	08:45-09:00 10:00	ブリーフィング 国際470級第1レース予告信号掲揚予定 国際スナイプ級のレースは国際470級に引き続き行われ 以降のレースは引き続き行う(以下同様)。
9月25日(日)	08:45-09:00 10:30	ブリーフィング 国際470級第1レース予告信号掲揚予定 国際スナイプ級のレースは国際470級に引き続き行われ る。 以降のレースは引き続き行う(以下同様)。

- 8.1 本大会のレース数は各クラス最大5レースとする。  
 ただし、各日の実施するレース数はレース委員会の裁量による。  
 8.2 9月24日は15:31以降、9月25日は14:31以降に予告信号は発せられない。但し、予定時刻以前に

予告信号が発せられたスタートがゼネラル・リコールとなった場合の新しいスタート、及び予定時刻以前に予告信号が発せられたクラスのスタート手順に引き続いて行われる別のクラスのスタート手順の予告信号は、予定時刻を過ぎて発する場合がある。

## 9. 計測

- 9.1 参加チームは、艇およびセールについて大会計測を完了し、「大会計測証明書」および「大会計測済スタンプ」をもってその証明とする。
- 9.2 大会計測後は艇の修理・改造を行ってはならず、行った場合は再計測を受けなければならない。
- 9.3 本大会期間中、レース委員会に呼ばれた艇は指示に従いインスペクションを受けなければならない。

## 10. 帆走指示書の配布

大会当日までに北海道学生ヨット連盟のホームページ上に公開し、大会当日に配布は行わない。

### 11. 受付

参加チームは、次の書類等を提出し受付を完了させなければならない。

- (a) エントリーするクラスの計測登録証明書
- (b) 「参加申込書-3」（「支援艇許可申請書」）の写し

### 12. 得点

- 12.1 大会の成立には1レースを完了することが必要である。
- 12.2 クラス別のチーム得点は、完了した全てのレースにおける各チーム3艇の得点の合計とし、得点の少ないチームを上位とする。この項は規則A2を変更している。
- 12.3 クラス別のチーム得点がタイとなった場合は、規則A8の「艇」を「チーム」に置き換えて解く。
- 12.4 総合得点がタイとなった場合は、その大学は同位とする。

### 13. 無線通信 [DP] [NP]

緊急の場合を除き、レース中の艇は無線の送受信をしてはならない。この制限は携帯電話にも適用される。

### 14. 賞

各クラスおよび総合成績について、第1位から第3位のチームに賞状を贈呈する。ただし、エントリー数が2チーム以下の場合は参加チームまでとする。

### 15. 支援艇 [DP] [NP]

#### 15.1 支援艇

支援艇とは、規則の定義にある支援者が乗艇するエンジン付きボート及びクルーザーで、水上においてレース中ではない自校に所属するレース艇に対し、以下の支援ができる。

- (a) レース艇（選手）へのアドバイス、応援。
  - (b) レース艇の交換装備の積み込み、装備交換の援助、破損した装備の引き取り。
  - (c) 選手の交代。
  - (d) 飲料水、食事の選手への供与、ゴミの引き取り。
  - (e) 海上において装備の交換または艇の乗員の交替を行う際、レース委員会信号船への伝達の代理
- 15.2 支援艇の登録は「参加申込書-3(支援艇許可申請書)」を参加申込時に提出することにより完了する。登録に基づき、受付時に「支援艇許可証」が発行され、レース委員会から緑色旗が貸与される。支援艇は水上において常に緑色旗を目立つように掲揚しなければならない。なお、支援艇は1クラスにつき1艇までとする。
- 15.3 支援艇は、「支援艇許可証」及び帆走指示書に記載される指示事項を守らなければならない。
- 15.4 レース委員会の指示に従わなかった支援艇は、以後出艇が許可されないほか、当該支援艇に関わるチームの全レース艇に対してペナルティーが課せられることがある。

### 16. 責任の否認

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。規則4『レースをすることの決定』参照。主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物的損害又は人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

#### 17. [DP] [NP] コロナウイルス感染予防対策

- 17.1 選手は厚生労働省が公表する「新しい生活様式」を遵守すること。
- 17.2 大会当日、以下の事項に該当する場合は参加を見合わせる事  
1: 体調が良くない場合 (例: 37.5℃以上の発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)  
2: 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合  
3: 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- 17.3 大会会場ではマスクを持参の上着用すること。
- 17.4 会場では、こまめな手洗い、アルコール消毒を行うこと。
- 17.5 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること (できるだけ 2m 以上、障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)
- 17.6 大会開催中は大きな声での会話、応援等をしないこと。
- 17.7 感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し主催者の指示に従うこと。
- 17.8 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

#### 18. その他

参加者は艇及び自身の映像や名称が放送、出版、その他へ露出されることについて同意するものとする。  
なおこれに対する対価を求めることはできない。

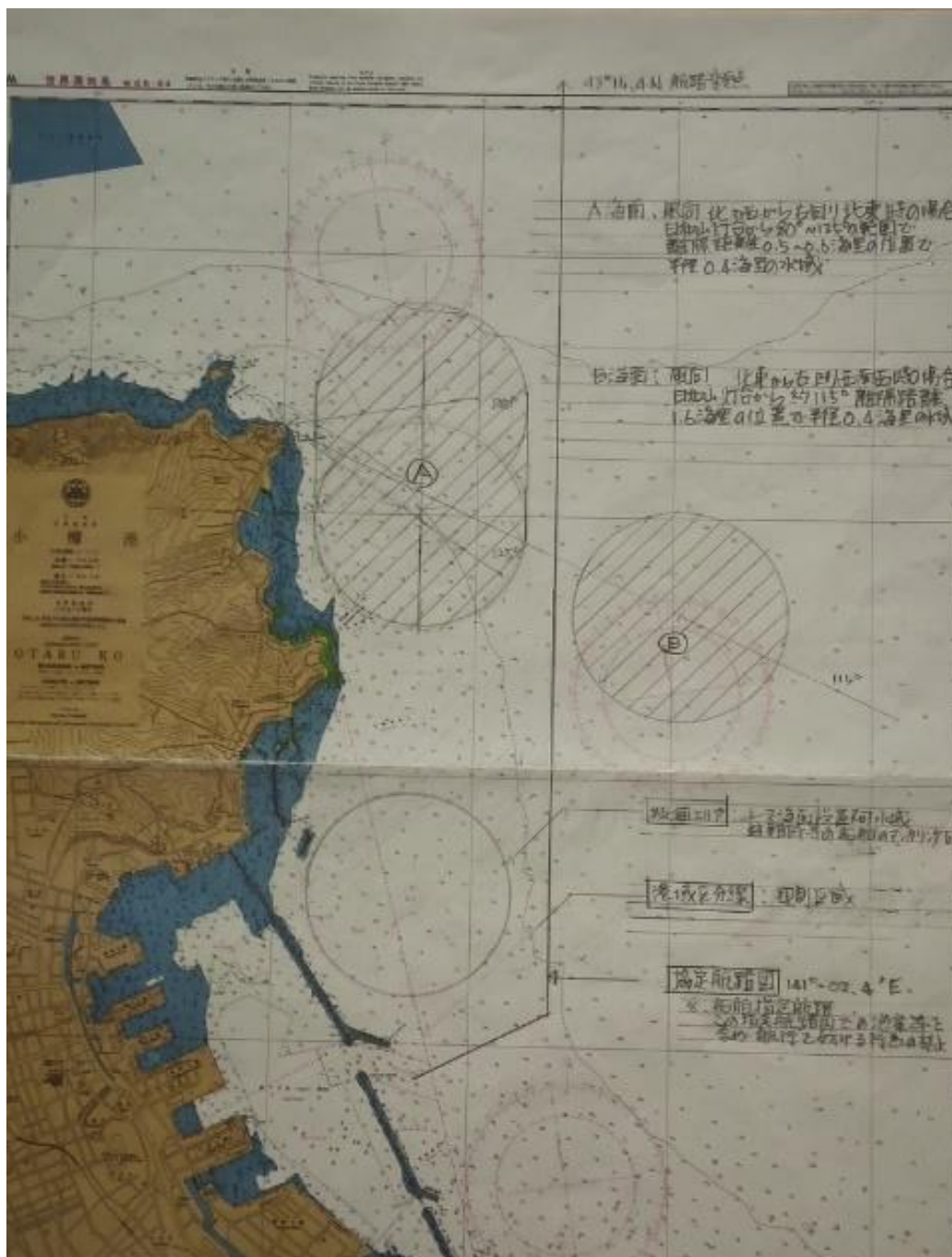
#### 19. 問い合わせ先

当レガッタに関する問い合わせは、次の通りである。

北海道学生ヨット連盟委員長 若林直人 070-7543-9818

メールアドレス h.gakuren21@gmail.com

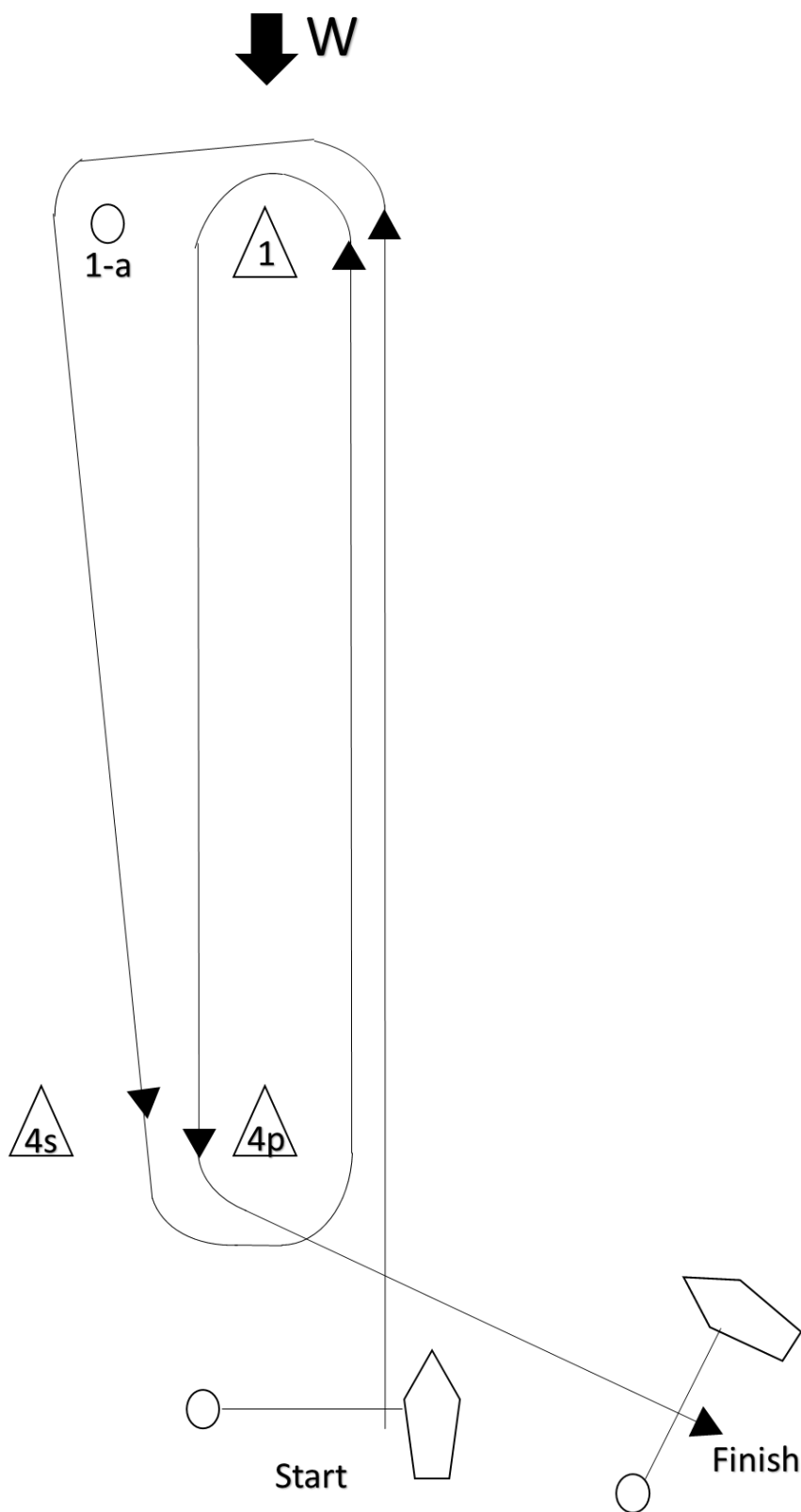
「添付図 1」 レース海面 小樽市 祝津沖



- 主要座標 緯度1度=緯度60分=60海里  
緯度1分=1海里(NM)=1.852KM
- |        |                              |                              |
|--------|------------------------------|------------------------------|
| 祝津沖水域  | : 緯度 43° -13.0 N~43° -14.9 N | 東経 141° -01.2 E~141° -03.7 E |
| 海面 A   | : 緯度 43° -13.6 N~43° -14.8 N | 東経 141° -01.2 E~141° -02.3 E |
| 同中心    | : 緯度 43° -14.0 N~43° -14.4 N | 東経 141° -01.7 E              |
| 海面 B   | : 緯度 43° -13.2 N~43° -14.0 N | 東経 141° -02.5 E~141° -03.7 E |
| 同中心    | : 緯度 43° -13.6 N             | 東経 141° -03.0 E              |
| * 協定航路 |                              | 東経 141° -02.4 E              |
| ハーバー入口 | : 緯度 43° -14.1 N             | 東経 141° -00.9 E              |

「添付図 2」 コース

見取り図はレグ間の通過するマークの順序及びそれぞれのマークを通過する側を含むコースを示す。



Start → 1 → 1-a → 4s/4p → 1 → 4p → Finish